

授業科目 心理学概論

【担当教員名】 遠山 孝司	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期・後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：GI0】  
 心理学は人間の心や行動を理解する学問であるが、医療福祉教育の場で心理学を学習するときには2つの目的が考えられる。  
 第1は自己をよく理解するためである。  
 医療福祉教育を受ける学生が医療福祉に関する職業に適応していくためには、まず自分自身をよく理解しなければならない。  
 第2は他者の心理をよく理解するためである。  
 患者や対象者に接する場合、その行動・知能・性格・情緒などをよく理解しなければならない。  
 さらに、もっと広くその家族や職場の同僚などとの間の人間関係も理解しなければならない。  
 この講義では、保健・医療・福祉・スポーツを学ぶための基礎となる知識を身につけ、それらの知識を自らの専門分野において活用することを目標とする。

【学習目標・行動目標：SBO】  
 1. 「心理学とは何か」という問いに対して、自分なりの意見を述べることができる。  
 2. 心理学の研究対象・領域の分類・研究方法について説明できる。  
 3. 心理学の各論について、要点を理解し、説明できる。  
 4. 医療福祉に関係した心理学の問題について、説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	対人認知の心理学	1, 2, 3	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司
2	人間関係の心理学	1, 2, 3	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司
3	欲求の心理学	1, 2, 3	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司
4	ストレスの心理学	1, 2, 3, 4	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司
5	学習の心理学	1, 2, 3	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司
6	記憶の心理学	1, 2, 3	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司
7	臨床の心理学	1, 2, 3, 4	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司
8	まとめ, 医療福祉における心理学	1, 2, 3, 4	講義, 実習, 担当: 遠山 孝司

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	使用せず, 必要に応じて資料を配付する			
参考書	指定せず, 授業内で適宜紹介する			
その他の資料				

【評価方法】 (1) 出席状況 (試験受験資格は学則による) (2) 講義時の課題 (3) 学期末の定期試験またはレポート 以上の3点で総合的に評価する。	【履修上の留意点】 クラスによっては受講生の座席を指定する予定である。 欠席・遅刻・早退・私語・飲食・スマートフォンの使用等、望ましくない受講態度は減点の対象となる。 本講義の学習内容を所属学科の専門科目や医療福祉現場において活用しようとする姿勢と積極的な授業参加を期待する。
---	---